

サンダンス映画祭 2021  
ワールド・シネマ・ドラマ部門  
審査員ドラマ大賞 ノミネート

現代の寓話  
— Indiewire

ロックダウン  
体験を描いた  
フィクションの決定版  
— Variety

この幻想的な作品は  
パンデミックの現実を  
不気味に映し出している  
— Los Angeles Times

ブラジルの新鋭が  
鮮烈な想像力で描き出す  
もう一つの結末。

# 世界が驚嘆！ パンデミック以前に構想された 衝撃のロックダウン・スリラー

2021年のサンダンス映画祭でイウリ・ジェルバーゼ監督のデビュー長編は予期せぬかたちで脚光を浴びた。2017年に脚本が書かれ、2019年に撮影された本作は、当初SFとして構想されていたにもかかわらず、世界的なパンデミックで一変した現実と重なった。

外には一歩も出られず、部屋の中でしか生きられない“ピンク色”のディストピア。そこでジェルバーゼ監督が目指したのは、ルイス・ブニュエル『皆殺しの天使』やサルトル『出口なし』のように、制限された状況下における生存競争ではなく人間の感情を描くことだった。慣れ親しんだ日常を剥奪され、望まぬ非日常が日常になりかわろうとするとき、人間は何を求めて何を選択するのか。雲はかたちを変えながら、まるで鏡のように見つめる者の心を照らしかえす。



## 楽観、倦怠、絶望。 一歩も外に出られないまま、 やがて世界は少しずつ狂っていく——

突如、世界中に発生した正体不明のピンクの雲は、10秒間で人間を死に至らしめる毒性の雲だった。世界の状況は一変、外出制限で街は無人となり、一夜の関係を共にしていたジョヴァナとヤーゴも長くて数週間で終わるであろうロックダウン生活に入る。しかし月日は流れ、ピンク色の雲が日常の景色となるにつれ、ジョヴァナの世界に生じた歪みは次第に大きくなっていくのだった……。

## ピンク・クラウド

監督・脚本：イウリ・ジェルバーゼ 出演：ヘナタ・ジ・レリス、エドゥアルド・メンドンサ  
2020年/ブラジル/ポルトガル語/103分/シネスコ/5.1ch/カラー/英題:THE PINK CLOUD/原題:A NUVEM ROSA  
字幕翻訳:橋本裕充/配給・宣伝:サンリスフィルム (P) © 2020 Prana Filmes

[@thepinkcloud\\_jp](https://twitter.com/thepinkcloud_jp) [@senlisfilms](https://www.instagram.com/senlisfilms) [senlisfilms.jp/pinkcloud/](https://senlisfilms.jp/pinkcloud/)



# 1.27 FRI ROADSHOW

JR新宿駅東南口GAP並び NOWAビルB1F  
新宿 シネマカリテ  
03 (3352) 5645  
<https://qualite.musashino-k.jp>  
全席指定/入替制

明治通り沿い 地下鉄B1出口正面 ココチビル8F  
ヒューマントラストシネマ渋谷  
03 (5468) 5551 [ttcg.jp](https://ttcg.jp)  
テアトルシネマグループ

サンダンス映画祭 2021  
ワールド・シネマ・ドラマ部門  
審査員ドラマ大賞 ノミネート

その雲に  
触れたら  
10秒で死ぬ



# THE PINK CLOUD

ピンク・クラウド

Written and directed by Iuli Gerbase

Post Production Supervision Daniel Dode and Gustavo Zuchowski Sound Design Kiko Ferraz and Christian Vaisz Original Soundtrack Cato Amon  
Cinematography Bruno Polidoro Production Design Bernardo Zorita Editing Vincente Moreno Visual Effects DOT Executive Production Patricia Barbieri ©2020 Presa Films



配給・宣伝：サンリスフィルム

幻想か、もう一つの現実か。人間の心が暴かれる、〈ピンク色〉のディストピア。

PG12